

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.02)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)兵庫尼崎物流センター新築	階数	地上5F
建設地	兵庫県尼崎市西向島町1番4、1番5	構造	S造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	600 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2025年7月 予定	評価の実施日	2023年11月25日
敷地面積	31,481 m ²	作成者	寺見小織
建築面積	16,778 m ²	確認日	2023年12月5日
延床面積	78,740 m ²	確認者	島田育洋



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%

②建築物の取組み 68%

③上記+②以外の 68%

④上記+ 68%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.5

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合	経済性、機能性、安全性、企業特性、環境配慮を実現するための設計。	その他 0
Q1 室内環境	居室の天井、床の二面に吸音材を採用している。内装材は全てF☆☆☆☆を採用し、さらに建築基準法の定める換気量の1.4倍以上の換気量を確保し室内環境の向上に努めている。	Q2 サービス性能 高い天井やリフレッシュスペースの充実による機能性の向上、耐用年数の長い部材や配管の採用による耐用性の向上に努め、階高・専用面積の広さ・大きな想定荷重による将来対応性の高い設計としている。
LR1 エネルギー	BPIm=0.59、BEIm=0.37であり、環境負荷の低い建物としている。	Q3 室外環境(敷地内) 0
LR2 資源・マテリアル	自動水栓を全面的に採用し節水に努めている。LGSの採用、再利用可能な部材であるフリーアクセスフロアを採用し部材の再利用の可能性を向上させている。	LR3 敷地外環境 LCCO ₂ 排出率=70%であり地球温暖化へ配慮している。燃焼機器を採用しないことで大気汚染に配慮している。敷地内に駐輪場や荷捌き車輛を含む駐車場の確保、車両出入口をそれぞれ設けることで周辺道路の渋滞緩和へ配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される